



BLUE
ROSE
AWARD

第1回

活躍する
女性リーダー表彰

(愛称:ブルーローズ表彰)

表 彰 式

2023年3月8日(水)

大阪商工会議所

ごあいさつ



大阪商工会議所
会頭

鳥井 信吾

この度、「第1回活躍する女性リーダー表彰（愛称：ブルーローズ表彰）」を受賞されました皆様方、誠におめでとうございます。

大阪商工会議所は、2025年大阪・関西万博に向けて、大阪がさらなる飛躍を遂げるため、2023年度からの3か年の中期計画を策定いたしました。同中期計画において、重視すべき視点・キーワードの一つに「人材育成」を掲げ、若者・女性・外国人・障がい者・高齢者など、多様な人材の活躍を推進してまいります。

そこで、大阪商工会議所は、企業における女性の役員・管理職登用への取り組みを引き続き後押しするとともに、ロールモデルの紹介や女性リーダーのネットワーク構築を促進すべく、今年度新たに「活躍する女性リーダー表彰」を創設いたしました。

記念すべき第1回を受賞された46人の皆様は、それぞれのお立場でたゆまぬ努力を重ね、その成果を認められました。また、ご自身の業績だけではなく後進の育成や、地域社会の発展に貢献されている方など、まさに本表彰の受賞者としてふさわしい方々ばかりです。

皆様方のこれまでのご努力に対し深く敬意を表するとともに、今後、そのご活躍をますます広げられますこと、また、本表彰を通じて交流の輪が広がり、次の世代の女性リーダー輩出につながることを心より祈念しております。

さらに、SDGs達成や2025年大阪・関西万博の機運醸成に向けた取り組みを自発的に行っておられる「大阪サクヤヒメ表彰」の受賞者の皆様とも連携し、大阪・関西に新しい風を吹き込んでいただくことを期待しております。

結びに、本表彰にご推薦・ご応募いただきました会員企業やご関係各位に深くお礼申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご活躍をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

総 評

「第1回活躍する女性リーダー表彰」を受賞されました皆様方に、心からお祝い申し上げます。

今年度より創設することになりました「活躍する女性リーダー表彰」の実施に向け、昨年6月、人材育成委員会のもとに、10人で構成する「活躍する女性リーダー表彰選定委員会」を設置し、応募書類や選考の基準・方法を定めました。その後、応募受付を開始しましたところ、46人の方からご応募をいただきました。

選定にあたりましては、各委員による書類審査を経て、11月25日に選定委員会を開催し、本表彰の選考基準であります「業績」「人材育成・職場環境改善」「社会貢献・都市魅力向上」に照らし、慎重かつ厳正に審査を重ねた結果、応募された46人全員が表彰に値するとの決定に至りました。

このたび受賞されました46人の皆様は、独自制度の導入により、誰もが働きやすい職場環境を実現された方、パートタイマーから正社員に転換し、積み上げた実績をもとに管理職に昇格された方、職人として技術を極め、後進の育成に注力されている方など、本表彰の受賞者としてふさわしい方々ばかりです。お一人お一人が成し遂げられた素晴らしいご実績とたゆまぬ努力に対しまして、選定委員一同、深い感銘を受けるとともに、衷心より敬意を表します。

本日、このような素晴らしい皆様方を表彰させていただきますことは、選考にあたりました私どもといたしましても、この上ない喜びであります。受賞されました皆様方に改めてお祝い申し上げますとともに、女性リーダーとして今後のさらなるご活躍を期待しております。

最後に、ご推薦・ご応募いただきました会員企業はじめご関係の方々には厚く御礼申し上げますとともに、ご関係の皆様方の今後ますますのご活躍とご健勝を心より祈念いたします。



大阪商工会議所
人材育成委員会委員長
活躍する女性リーダー表彰
選定委員長

長谷川 恵一

あとむら ともみ
後村 智美大阪市商業振興企画株式会社
経理部

1996年の千林くらしエール館開業以前より労務・広報等に携わる。開業後は入居テナントの売上管理など、商業施設をシステムの的に推進する体制づくりに取り組む。施設内外の案内表示板の充実・更新、休憩所の設置、施設全体の美化などの課題をとりまとめ、改善・実行した。2001年から経理担当として新システム導入を主導し、財務体質の強化と財務処理の効率化に寄与した。

あひかわ まゆみ
鮎川 真弓株式会社池田泉州銀行
田尻支店長

1988年入行。結婚・出産後に窓口担当から渉外担当に抜擢され活躍。同行初の金融窓口サービス技能検定1級（国家資格）取得など、接客スキルを向上。営業企画部ではスキルと経験を生かし、窓口担当者向け活動マニュアル作成やおもてなし向上研修等の活動を10年間で延べ1万人の職員に対して実施。銀行リテール力調査で同行が全国3位を獲得するなど、接客サービス向上に貢献した。2018年より現職。

いけだ かおり
池田 香織アトリエいけだ
ジュエリーデザイナー・クラフトマン

1997年に宝石貴金属加工卸会社に唯一の女性職人として入社。ハイブランドジュエリー修理工の責任者に抜擢され、クレーム数を1/10に減少、納品期日を2/3に短縮するなど業績に貢献。1999年に自社設立。独自の技能を生かし取引先を拡大。大阪ジュエリー工芸協同組合に加入し、職人の後継者育成に取り組む。2022年大阪府優秀技能者表彰「なにわの名工」を受賞。

いしだ やすこ
石田 康子株式会社シーエスエス
収納サービス部長

1994年入社。課長、担当部長等を歴任し、昨年4月から現職。WEB上で口座振替をペーパーレスで受付できるインターネット口座振替受付サービスや、多様な決済手段から支払方法を自由に選択できる「TREE PAYMENT」を開発。事務のBPOを積極的に推進するなど業務効率化にも尽力。また、契約職員の正社員化も推進し、対象者の80%以上の正社員化を実現した。

いしはら ゆみこ
石原 由美子株式会社JUMPS
代表取締役

2005年チアリーダーズクラブ JUMPS を設立。2010年に平均年齢65歳の「大阪オトン・オカンチアリーダーズ」プロジェクトを立ち上げ、育成したシニアが地域の祭り等で活躍し、社会貢献するモデルを創出。2012年に法人化し、行政や企業、団体との連携を強化。2021年より3市のシニア健康プログラムに導入される。2022年時点で6拠点に100名在籍。一般社団法人生涯チアダンス普及協会も設立。

いむら すみ
井村 寿美第一生命保険株式会社
関西コンサルティング営業室 支社長

1997年入社。2022年より現職として営業専門職等250名を率いる。働き方の見直しに取り組み、毎月の早帰りの設定、有給休暇取得状況の毎月開示などで休みやすい雰囲気づくりを徹底。テレワークやデジタルツールの活用推奨により、電気使用量約3割減、OA用紙購入量約6割減を達成し、サステナビリティ推進に貢献。入社後のFP技能士取得促進等、キャリアアップにも注力する。

うらたに ちあき
浦谷 千晶株式会社フジプラス
ゼネラルマネージャー

2014年入社。生産管理部門に配属され、2年目で特定顧客の受注工程効率化と経費削減を達成。2021年にプロジェクトリーダーに抜擢され、FSC®COCの認証を取得。2022年現職昇格と同時にM & Aでグループ化した企業の取締役役に就任。統合責任者（PMI）として6か月間で経営資源の引継と技術・ノウハウの融合、受注拡大や仕入効率化を実現した。

おおち さちこ
大地 佐智子日立造船株式会社
環境事業本部 開発センター長

研究開発職として経験を積み、2011年に事業譲渡によりグループ会社に入社。開発部門の責任者として、技術の譲渡及び試験設備等の移転を指揮。2014年に合併により日立造船に入社。2013年から排水中のリン回収に関するISO国際規格策定に携わり、2015年に座長に就任。各国と調整し、レポートを完成。開発部門、企画部門のグループ長を経て、2021年より現職。

おおなか ゆうこ
大仲 祐子大阪信用金庫
人事部 課長

1990年に泉陽信用金庫に入庫。2004年に合併により大阪信用金庫人事部に引き続き所属。2021年より現職。健康データの一元管理と、産業保健活動の効率化を目的としてクラウドサービスの導入を提案し、約1年にわたる交渉を続けて実現。DX化の好事例を作り出した。経済産業省の健康経営優良法人認定制度「ホワイト500」の認定取得に取り組むなど、職員の健康管理に貢献している。

おおにし ひろみ
大西 裕美池田泉州ホールディングス
企画総務部 SX戦略室長

2007年入行。営業担当、社内研修担当を経て、ダイバーシティ推進室の立ち上げに従事。その後、同室の中心メンバーとして、社内風土改革や両立支援施策の充実に取り組み、D & Iの礎を築く。2016年には「厚生労働省均等・両立推進企業表彰」を受賞する等、企業価値向上に貢献。育児休業取得後、ファイナンスアレンジ業務を経て、2022年より現職。



おがさわら まり
小笠原 麻里

株式会社大阪国際会議場
営業部 予約課長

非常勤社員として約5年間勤務、2001年に正社員採用。営業部予約課に配属され、予約手続きの電子化を主導し、顧客満足度と利益向上に貢献した。2017年から同社女性初の課長職である現職に昇格。新規業務・企画業務に関与させるなど、契約社員の意欲向上と能力発揮に尽力。直属の契約社員が初めてリーダー職に登用されるなど成果を上げたことが、契約社員制度刷新の契機となった。



かねだ ゆきみ
金田 行美

日本ソフトウェア株式会社
執行役員 経営本部 本部長

1987年入社。経理業務を中心に総務や人事、安全衛生委員会、情報システム、教育等を兼務。2020年から現職。顧客・部門別に異なっていた営業事務の統合およびクラウド化による標準化・効率化を実現し、間接部門・技術部門の生産性向上に貢献。サテライトオフィスの整備、外国人社員の採用・生活支援等に取り組み、多様な社員の特性にあわせた働きやすい職場環境を実現した。



かわむら あやみ
川村 綾美

株式会社タオ
副代表

1994年に前身の整骨院にパートとして入社。2002年のタオ設立と同時に人財開発部を立ち上げ、フレックスシフトや短時間正社員制度、全職種へのキャリアパスプランを導入。パート従業員が働きやすい労働環境を実現し、正社員登用を継続的に実施することにより、従業員の女性比率が10%から75%に上昇。介護事業の課題である人材不足を解決した。2017年より現職。



きだ あけみ
木田 明美

学校法人エール学園
副理事長

入職後40年間、教育現場でメンターとして学生の指導に尽力。メンタリング学修士やチーフ・エグゼクティブメンター取得等の研鑽を重ねて、学生や職員1人1人の力が一層発揮できるよう「チーム・クラス コミュニティづくり」に尽力し、学生の就職率100%実現等に貢献。働きやすい環境整備に注力し、学園初の男性育休取得者誕生や女性管理職比率50%達成に寄与。2020年より現職。



くらた まゆみ
倉田 真由美

株式会社KMユナイテッド 取締役副社長
ダイバーシティ&インクルージョン最高責任者
2017年入社。塗料の販売員として成果を上げ、人事担当者に抜擢。働き方改革、給与体系改革、短期間の育成プログラム作成などで「10年で1人前」という建設業界の

常識を打破。若い職人の生活を安定させるとともに、トイレの設置、塗装容器の軽量化等、女性職人が働きやすい環境整備に注力した結果、若い職人の応募が増え、職人数の増加に貢献。2022年に取締役就任。



おかした まゆみ
岡下 真弓

美養憧
代表

化粧品会社の開発事業、医薬品等卸メーカーで薬事業務、調剤薬局で薬剤師の経験から、美容と医療の共存を目指し、2019年に個人事業を開始。女性ホルモンの啓発活動に取り組み、百貨店や製薬会社等のヘルスアドバイザーとして参画。オンラインピルを取り扱う mederi にも薬剤師として参加し、病気や心身の不調によるキャリアの断念、出産を諦めない、女性自らが選択し、自立できる社会創生に尽力している。



かわさき ちよ
川崎 千代

千島土地株式会社
アーカイブ室長

2007年入社。芝川ビルの歴史調査と情報発信を担当し、新たなファン層の獲得やブランド力の向上に寄与。2012年に会社と創業家の歴史を網羅したユニークな100周年誌の制作を統括し、複数のメディアに取り上げられる。2014年より現職。2014年の芝川ビルでの雛祭り展示が大きな反響を呼び、2015年から「船場のおひなまつり」を企画・開催。1週間で延べ3万人を動員した。



きしがみ まみ
岸上 真巳

一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会
企画調整課リーダー 兼 クレオ大阪子育て館 館長

2001年入社。クレオ大阪中央開館時の図書コーナー整備・運営を担当。2006年に国の女性のチャレンジ支援施策として、大阪市初の女性の起業準備オフィス開設に従事。2008年より企画チーフとして、行政・企業・NPOと密接に連携して10年以上続くセミナーを企画・運営し、約1000名が受講。2021年よりクレオ大阪子育て館の館長として、仕事と生活の両面から女性のキャリア形成支援に取り組んでいる。



きむら たえこ
木村 多恵子

学校法人エール学園
校長

2005年に教務事務として入職。留学生数の増加に伴う地域住民とのトラブルに対応し、学生による地域清掃や祭り等のボランティア活動を開始。年間200件近くの活動を行うことで、留学生に対する誤解や偏見による「こころの壁」を壊し、地域の一員として認められるよう寄与した。日本語メンタリング室室長、国際人材育成事業本部本部長、理事を経て、2022年より現職。



さかもと さとこ
坂本 里子

南海電気鉄道株式会社
執行役員グループ統括室副室長 兼 人事部長

1993年入社。経理・グループ経営管理・IR等に従事。3人の育児と両立し2015年に女性初の鉄道管理職に抜擢。IT子会社への出向経験を経て2020年にDX推進組織を立上げ。業務デジタル化、IT基盤整備、データ分析プロジェクト、南海アプリ新サービス実装等を主導し、デジタルを活用した社内風土改革や価値創造に寄与。2022年4月から現職にてD&Iをはじめとする人財戦略の具現化を推進中。



あさとう みき
佐藤 朝子

株式会社電通 第6CRプランニング局 クリエイティブ・ソリューション7部長 クリエイティブ・ディレクター

2002年入社。コピーライター、CMプランナーとして、育児経験を活かした女性・ママ・家族向けブランドの広告を制作。2009年にママ社員によるソリューションチーム「おかんカンパニー」設立。新聞社と提携し、様々な企業のサービスを母親目線で紹介する記事広告「おかん新聞」を作成するなど、社内外にママ人材がビジネスの場で貢献できることを提示。2018年より現職。2023年部長に就任。



しばたに まりこ
柴谷 真理子

関西テレビ放送株式会社
クリエイティブ本部 報道局
報道センター 専門部長

1992年入社。ディレクターとして延べ34本のドキュメンタリー番組を制作。犯罪被害者やハンセン病の問題など、理不尽な状況や弱い立場に置かれた人たちの声を伝える。2021年に男女格差をテーマに番組を制作した他、記者有志で報道番組のなかにジェンダーギャップ解消を目的としたシリーズを立ち上げるなど、職場や社会の意識変革に取り組む。2018年から現職。



しみず みえ
清水 美絵

株式会社スブランドウール
代表取締役社長

こどもの小学校入学を機に、東洋医学を学びながら美と健康のサロンを開設。新規顧客開拓や既存顧客の維持・拡大に取り組む。関西圏の美容オーナー等が集まる組織を立ち上げ、情報交換の場やビジネスマッチングの場を提供。コロナ禍で影響を受けた貿易や国内サロン卸以外に業務を広げるため、2021年にIT事業部を本格稼働。ネットショップや企業のサイト運営にも注力している。



しらい さゆり
白井 さゆり

北港商事株式会社
営業事務部 次長

2009年に営業事務職として入社。職域を拡大し、販売管理システムの刷新、受発注品の納期管理と部材支給管理システムの構築、業務マニュアルの作成や受発注データ件数の見える化による業務の平準化と効率化を推進して全社の生産性を高め、担当部門の年間売上高を2年間で33%増加させるなど業績の向上に寄与した。2020年にマネージャー、2022年から現職。



しんたく りょうこ
新宅 亮子

エヌ・ティ・ティ・メディアサブライ株式会社
取締役 ブロードバンドサービス事業本部 本部長

1992年NTT入社。育児と両立しながら20年以上営業で活躍し、2015年に人事労働部門で育成業務に従事。社内外のビジネスコンテストでの実績を元に社内ポストイロ制度で2018年に本社事業開発組織へ。本社では新会社設立支援や社長直轄プロジェクトを経験。2019年MBA取得。2022年NTT Universityへ公募枠で合格し飛び級で役員に。介護経験もありWork in Lifeの実践者として推進に尽力。



そふえ しょうこ
祖父江 容子

株式会社電通
関西第2ビジネス・プロデュース局
シニアプロデューサー

数少ない女性営業として、育児と両立しながら様々な企業の事業戦略を22年間担当し、サービス作業の効率化や業務プロセスの改善、組織横断のチームビルディングに取り組む。新規事業からDXまで企業戦略全体のパートナーとして幅広いソリューションを提供。2020年からはクライアント担当に加え、若手メンバー育成を兼ねた局内横断の取組みにも従事する。



たなか くみこ
田中 久美子

株式会社三興ポンプ製作所
経理総務部 係長

2018年に入社後、経理総務部でDX化を推進し、電子記録債権を導入したほか、会計ソフト等の社員教育と実用化を徹底。有給休暇残日数の可視化に取り組み、取得率を40%から70%に上昇させた。2021年に「創造的破壊による会社の発展のための活動」と題した経営層と各部署の管理職で構成される場を設け、座長となり社内の課題解決に向けて活動している。



たまがき なつこ
玉垣 奈津子

有限責任あずさ監査法人
第2統轄事業部 パートナー

2002年入所。育児と両立しながらグローバルに事業を展開する上場会社監査チームの管理職を務め、2022年6月にパートナー登用。法人内の全女性構成員の団体であるWorking Women's Network 大阪代表、ダイバーシティ推進担当、リクルートプロジェクトのコアメンバーを担当し、多様性や女性の活躍推進及び女性会計士のリクルート活動に尽力している。



つじの かずみ
辻野 和美

一般社団法人幸せな身体づくり協会
代表理事

健康支援事業に取り組むなかで対策の遅れている「骨盤底ケア」に着目。実践指導の草分け的存在として、行政や企業、大学と連携し2,000人以上への啓蒙活動を行う。科学的知見を高めるため研究活動を行い、日本介護予防・健康づくり学会内に専門研究部会を設立し、実装を進める。2022年に指導者養成と地域関連機関とのネットワーク構築のため一般社団法人を設立し、代表理事に就任。



にしおか ひでこ
西岡 英子

公立大学法人大阪 大阪公立大学 女性研究者支援センター副センター長、プログラムディレクター

大阪市立大学女性研究者支援室チーフコーディネーターとして2014年に着任、2017年にプログラムディレクター、特任准教授に登用され、現在に至る。この間、新たな文部科学省補助事業採択に尽力し、保育サポート事業、相談窓口等の両立支援制度、メンター制度等の構築を行い、女性教員比率や女性教授比率の向上に貢献した。また、「近畿女性研究者支援ネットワーク」を発足させ、各種制度の普及や産学官連携に寄与した。



ほっとり りえ
服部 理恵

日立造船株式会社
調達本部 管理部長

入社後10年間、海外向け大型プラントの調達業務や国内向け各種プロジェクトの機器・材料の輸入業務に従事。関係会社調達部門への出向後、2回の育児休業を経て、2009年に本社調達部の管理グループに復職。全社基幹業務システムの開発プロジェクトメンバーとして調達業務のペーパーレス化や業務効率化を実現。2016年に同グループ長、2022年1月より現職。



はまなか ようこ
濱中 陽子

株式会社ハマキヤスト
代表取締役

営業、製品開発、広報、人事等を経て、2019年に役員就任。同年10月より現職。IT化を進め業務の効率化を図り、2020年度比で2021年度の年平均残業時間を30%以上削減した。育児時短制度の取得可能期間を延長し、独自の病気休職制度を導入するなど就業規則を全面改訂し、社内環境を改善。社内研修を積極的に実施し、建設業の次世代リーダー育成に取り組む。



はやし さちよ
林 幸代

株式会社池田鉄工所
代表取締役社長

アパレル専門商社で勤務後、2019年に実家事業を承継。従来の建築金物分野以外への進出を企図し、近隣工場との連携により対応加工種と取引先の拡大に成功。地域が抱える高齢化ニーズを受けた医工福連携のコアメンバーとして、コロナ禍で地域医療機関が求める製品を供給した。2021年、(社)大正工業会の青年部「若葉会」の初の女性会長に選任。



はやし まいこ
林 麻衣子

株式会社電通プロモーションプラス
ソーシャルプロジェクト部 部長

プロモーション全般およびPR業務に携わり、広い業務知見と連携体制で案件の成功率を高め、関西支社で売上げに貢献する。電通グループの横断組織であるTeamSDGs発足時に中心となって社内のSDGsコンサルタントチームを組成し強化中。2025年大阪・関西万博の案件にも携わる。2022年関西支社初の女性管理職として、ユニットリーダーに就任。2023年部長に就任。



ふじもと あさこ
藤本 亜佐子

大同生命保険株式会社
変更サービス課 課長

1998年に入社し、支社事務を経験。契約管理部門では、育児と両立しながら女性活躍WGに参画し、仕事や管理職昇進への不安を解消する活動を4年間遂行。その後、契約管理部門の人財育成を担当し、必要な「人財要件」を明らかにし、求められるスキル・知識を磨く仕組みを構築・運営。当該部門の女性管理職比率を2014年25%から2022年37%に上昇させることに寄与した。



ふちがみ ちなつ
渕上 千夏

株式会社関電システムズ 人財部 人事グループ
ビジネスエキスパート・プロフェッショナル

1994年に事務職として入社。育児と両立しながら複数の部署を経験し、2013年より人財部労務グループで賃金・賞与、働き方改革、人事賃金制度設計等を担当。働き方改革では、多様な勤務制度やテレワーク制度を設計。人事賃金制度では、エキスパート職制度の設計と賃金改定を実施。2021年に同社初の女性管理職に登用。2022年から現職として人事業務全体を統括。



ほりうち あい
堀内 愛

大阪シティ信用金庫
中之島支店 支店長

1994年に入庫し、預金事務、テラーなど経験。2019年に管理職就任。2021年に支店長就任。運用方法等を詳しく説明して顧客の信頼をつかみ、退職金定期預金の口数と獲得額で全店トップを達成するなど業績向上に貢献した。同年「新しい人材育成プログラムの構築」をテーマとした諮問委員会の委員長として、職員の意識向上につながる提言を経営層に対して行った。



まつもと えみ
松本 恵美

レンゴー株式会社
経本部 財務・IR部長

1986年入社。1998年より財務部門にて資金調達に携わり、効率化の諸施策に取り組む中、同社で女性初の金融機関との折衝担当となる。女性の職域拡大を体現して、個人の能力を発揮できる職場・社会に変化させた。2010年に管理職に昇進し、後進の育成や部下のモチベーションアップを精力的に推し進め、社内外の女性活躍、D&Iに貢献している。2022年に経本部財務・IR部長に就任。



みき ちえこ
三木 千恵子

株式会社ロイヤルホテル
リーガロイヤルホテル(大阪)
プライダル部 次長

2000年に他ホテルでのウェディング経験を経て入社し、プライダル部に配属。新規接客を担当し、入社2年目で社内における第1回プライダルコンテストに優勝。その後、ウェディングプランナーとして1,000組以上の顧客を担当。2012年に管理職に登用され、2022年から現職。勤務時間短縮のためシステム改善を行い、業務負担軽減・勤務時間短縮・ペーパーレス化に繋がった。



みねの けいこ
峯野 敬子

第一生命保険株式会社
布施支社 支社長

1994年入社。新人育成を担当するトレーナーや営業所の責任者、営業部長を歴任。2021年に支社長就任。包括連携協定を締結した3市に約2200件の地域のお困りごとアンケートを届けることで、社会貢献をしながら生涯設計デザイナーのモチベーションをアップさせた。取引先企業同士のビジネスマッチングを継続実施してビジネスチャンスを提供し、新規法人開拓につなげた。

むらい まさこ
村井 雅子サラヤ株式会社
取締役 総務人事本部 本部長

2002年東京サラヤにパートタイマーとして入社。2004年正社員に雇用変更。2013年から女性管理職候補の選抜研修、異業種交流や小集団での役員メンター制度等をリーダーとして遂行し、女性管理職を20名増加させる目標達成に尽力した。2017年サラヤに転籍。2019年に現職就任。健康経営を推進し、3年連続で健康経営優良法人の認定を受ける成果を上げた。

やの ひとみ
矢野 ひとみ株式会社シーダ
代表取締役社長

コールセンターにアルバイトで入社。受注数トップにより正社員に昇進。統括本部長として大阪・横浜150席のコールセンター、人材派遣業の管理を行う。音響会社でコールセンター事業を立ち上げ、事業部長に就任。2020年に独立。子育て中の時短勤務者を積極的に採用し、管理職に昇進できる仕組みをつくることで、後進のモチベーションを向上させるなど、人材育成に注力。

やまだ みわ
山田 実和積水ハウス株式会社 執行役員
ESG経営推進本部 ダイバーシティ推進部長

1990年一般職で入社。営業で実績を上げ、総合職へ。2014年管理職登用。2020年ダイバーシティ推進部長、2021年執行役員就任。男性育休取得促進に尽力し、2022年には81の企業と「男性育休について考える」共創PJを展開。制作した動画「男性育休、あなたはどのように思いますか？」はメディアで多数紹介され、メッセージを広く社会に投げかけることに成功。

よしき としえ
吉城 寿栄京阪ホールディングス株式会社
課長

1992年入社。沿線情報誌制作や、運賃改定等を担当後、2000年ガーデンミュージアム比叡園長就任。出向を経て、2014年に事業統括室エリア戦略を担当。2016年に実現した「中之島駅ホーム酒場」は、連日入場制限を行う盛況となり中之島駅の知名度向上に成功。2016年より現職。中之島公園の芝生広場で初めて熱気球を上げるなど、水辺の魅力づくりに注力する。

よねだ みさこ
米田 美砂子株式会社りそな銀行
神戸支店 営業第4部長

大阪・兵庫等の12カ店で店頭業務を経験後、2019年から現職。業務の繁閑に応じて機動的に人員がシフトする「チーム制」を確立し、約30分の早帰りに成功するなど、業務の効率化・多能化を推進。店頭の管理業務を行いながら人材育成に注力し、女性社員の昇格者を多数輩出するなど、部下の意欲向上に貢献。メンタリングのメンターとして所属店以外の女性の育成にも携わる。

りゅう だい
劉 岱株式会社箭木木工所
生産管理部長

2014年に生産管理職として入社。技能職や配送、積算業務、クレーム対応等幅広く業務に携わる。高いコミュニケーション力により顧客の信用を得て、全社平均より10%高い再受注率を達成。社内では、労働日数、経験、能力、年齢が異なる社員と、リーダー的役割をもって個別にコミュニケーションをとることで人間関係を改善。離職防止につなげた。2021年より現職。

● 愛称「ブルーローズ表彰」について

女性リーダーがガラスの天井を打ち破ることを応援するため、3月8日の「国際女性デー」のシンボルであるバラ、なかでもかつては不可能とされたものの、日本企業が開発した世界初の青いバラにちなみ、本表彰の愛称を「ブルーローズ表彰」としました。

● ロゴマークコンセプト

濃淡の異なる青色を使用し、中心から相互に絡み合って大きく花開いているようすは、周囲を巻き込んで活躍する女性リーダーを表現しています。



**BLUE
ROSE
AWARD**

表彰式 次第

日時

2023年3月8日(水)
午後3時～

場所

大阪商工会議所
7階 国際会議ホール

次第

開会あいさつ 大阪商工会議所 会頭 鳥井 信吾
選定委員長による総評 大阪商工会議所 人材育成委員会委員長 長谷川 恵一
表彰楯授与
お祝いメッセージ 近畿経済産業局長、大阪府知事、大阪市長、日本商工会議所会頭
受賞者のことば 千島土地株式会社 アーカイブ室長 川嵯 千代氏

表彰概要

● 活躍する女性リーダー表彰について

2003年に政府は2020年までに指導的地位に占める女性の割合を30%にする目標を掲げましたが未達成となりました。2020年に取りまとめられた「第5次男女共同参画基本計画」では、新たな数値目標（2020年代の早期に30%程度）が設定され、大阪商工会議所も同目標の達成を後押しするため、女性のキャリアアップや働きやすい環境整備を支援するためのセミナーや交流会等を実施しております。

本表彰は、企業における女性の役員・管理職登用への取り組みを促進するとともに、ロールモデルの紹介や女性リーダーのネットワーク構築を支援します。

● 表彰の種類

ブルーローズ賞

● 表彰対象

下記①～③のいずれかに該当し、今後さらなる活躍が期待され、後進のロールモデルとなる方。応募は1社2名まで。

- ①大阪商工会議所法人・団体会員に属する女性役員（取締役・執行役員等）、管理職、管理職に相当する高度な専門職の方
- ②大阪商工会議所個人会員である女性個人事業者
- ③大阪に活動拠点をもち社会貢献・都市魅力向上に携わる女性

● 選定方法

「活躍する女性リーダー表彰 選定委員会」にて応募書類に基づき審査を行う。

大阪商工会議所 人材開発部 研修・採用支援担当
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8
TEL 06-6944-6499
HP <https://www.osaka.cci.or.jp/bluerose/>



本冊子に記載している情報は
2023年2月現在のものです。